

様式第6号（第20条関係）

番 号
令和3年 6月 25日

佐賀県知事 様

住 所 佐賀県鳥栖市河内町字谷口 2212 番地 2
団 体 名 特定非営利活動法人 市村自然塾 九州
代表者職・氏名 代表理事 柴田 暢雄

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和3年 2月 26日付け県協第 2089号により寄附金交付決定通知のあった佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第6号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第6号 別紙2）

(様式第6号 別紙1)

令和2年度寄附金活用実績報告書

| | |
|--|------------|
| 事業名 | 通年型自然体験塾 |
| 寄附受入額 | 2,969,100円 |
| 事業内容(いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施したのかについて記載) | |
| 期間 (計画) 男子：令和2年3月13日(金)～令和2年11月22日(日) 女子：令和2年3月20日(金)～令和2年11月29日(日) (実績)新型コロナウイルス感染拡大の影響により 男子：令和2年6月14日(日)～令和2年10月25日(日) 女子：令和2年6月21日(日)～令和2年11月1日(日) | |
| 場所 市村自然塾 九州 塾舎及びその周辺地域 | |
| 対象 佐賀県、福岡県の塾生男子30名、女子28名 | |
| 事業内容 市村自然塾 九州は、「生きる力を大地から学ぶ」を基本理念に「農作業」「自然体験」「共同生活」をベースに青少年の成長支援を行うNPO法人です。例年であれば、上記計画の通り金曜日の夕方から日曜日の昼までの2泊3日を1ステージとし、男子・女子各30名の隔週で3月～11月下旬まで18ステージ行っていましたが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、活動期間を縮小して、日曜日のみの日帰りで体験コースという形で活動を行いました。 3月の開始を見送り、6月から活動を開始しました。コロナウイルス感染拡大の再燃により8月の活動休止を余儀なくされましたが、9月より再開しました。感染予防をしながら、主に農作業を行いました。子ども達には、畑での野菜の栽培、水田での稲刈りや脱穀を通して、農業の大変さや食べ物への感謝の気持ちを学ばせることができました。 | |
| 事業実施の成果・効果(見込み) | |
| ※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、成果・効果の見込みを記入してください。 教材費：塾生が農作業で使う道具や野菜の苗、種等を購入しました。チームごとに与えられた畑の中で、植付けから除草、害虫駆除などの世話を経て野菜の収穫までの過程を経験し、農業の大変さを身をもって体験させることができました。 印刷製本費：塾生募集のためのパンフレット、ポスターを作成し、各学校に配布しました。定員を上回る応募がありました。 | |

(様式第6号 別紙2)

収 支 決 算 書

| 事業名 | | 通年型自然体験塾 | |
|--------|------------|-----------|-----------|
| 区 分 | | 決算額 (円) | 備 考 |
| 収 入 | 佐賀県ふるさと寄附金 | 2,969,100 | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | 収入 計 | 2,969,100 |
| 支 出 | 教材費 | 387,567 | |
| | 食材費 | 140,741 | |
| | 通信運搬費 | 599,467 | |
| | 消耗品費 | 363,553 | |
| | 水道光熱費 | 1,081,056 | |
| | 印刷製本費 | 396,716 | |
| | | | |
| | | | |
| | | 支出 計 | 2,969,100 |

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。

経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。